

発言者	内容
司会（会長）	特別の教科 道徳の教科用図書について審議する。 東京書籍についていかがか。
委員	全教材に「つぶやき」があり、考えたことを書き込めるようになっている。 小中で同じ教材を扱っているのはよい。
委員	二次元コードには、朗読やワークシート等があり、使いやすい。
委員	道徳という特性から、全体に△が少ない方がよいのではないか。 また、身近な題材が取り上げられている方がよいと思う。
司会（会長）	全体的にマイナス面が少ないことを考慮する必要があるだろう。 また、身近な題材のほうが生徒にとって、自分の事として考えやすい。 目次が見やすい方が、学習の進捗状況を確認しやすい。
司会（会長）	教育出版についていかがか。
委員	段階的に考えを深める構成となっており、主体的・対話的で深い学びにつながるように工夫されている。 生徒が学習前と学習後の考えや心の変容が実感できる工夫がある。
委員	二次元コードで、教材内容が簡潔に記されている。 教材の解説、ワークシートが別冊になっている。
委員	兵庫県の内容が、やや少ない。
司会（会長）	目次は、一段の方が見やすいのではないか。 表紙をイラストにするなら、意図が伝わるような工夫がほしい。 生命倫理や思いやり、いじめを扱った教材がやや多い。
司会（会長）	光村図書についていかがか。
委員	巻末の「まなびの記録」では、授業で考えたことを毎時間記録できる。 1年間の終わりには、記録を読み返して自分が学んだことや成長したことを振り返ることができる。
委員	「道徳道案内」で1年間に学ぶことを確認できる。 価値観のマークは、わかりやすかった。
委員	調査員の報告によると△がなかった。

	道徳にとっては教材の量が多い方がよいのではないかと。
司会（会長）	よく知られている読み物教材が多い。兵庫を題材とした教材もある。また、人権について考える教材が多い。挿絵等も効果的に配置され、わかりやすい。
司会（会長）	日本文教出版についていかがか。
委員	問題解決的な学習や体験的な学習に関する内容を多く取り上げている。特に、「学びを深めるヒント」は、生徒の考えを広げたり深めたりするために、効果的である。
委員	伝統や文化等に関する内容の取扱いが、やや少ない。
委員	兵庫県を題材とした教材が多い。
司会（会長）	互いに多様性を認め、高め合うための教材が多く取り扱われている。表紙のイラストも、多様性に配慮されている。
司会（会長）	学研についていかがか。
委員	「見つけよう・考えよう・話し合おう・生き方に繋げよう」の4つのステップで構成されており、流れがわかりやすく考えを深めることができる。漫画も多くあり、興味をひきやすい。
委員	熊本地震や東日本大震災については取り上げられているが、阪神淡路大震災に関する内容がない。
委員	調査員の報告によると、◎がやや多い。
司会（会長）	生徒が考えやすいように配慮されており、多面的な見方ができるため、バランスがよい。 また、写真等の資料が、多い印象がある。
司会（会長）	あかつき教育図書についていかがか。
委員	新型コロナウイルス感染症や生成 AI に関する内容が扱われているなど、新しい題材が用意されており、新旧の教材で構成されている。 兵庫県を題材とした教材が多い。
委員	二次元コードより学習に関連した情報を見ることができ、動画も豊富である。
委員	漫画がもう少し多い方が、読みやすいのではないかと。

司会（会長）	読み物教材において、有名な題材が多い。 表紙も多様性に配慮している。 異なる立場からの考えを取り上げるなど、物事を多面的・多角的に考え、議論できる工夫もみられる。
司会（会長）	日本教科書についていかがか。
委員	3年間を通して兵庫県を題材にした教材がある。 「考えよう」「深めよう」の発問は、生徒の考えを促すきっかけになり、自分の考えを深めることができる。
委員	デジタルコンテンツの動画は授業にやや活用しづらい。 実写にすると考えが固定化されるのではないか。
委員	統一感のあるレイアウトであるが、やや余白が広い。 情報やSDGs、伝統・文化に関する内容が、やや少ない。
司会（会長）	3年の教材にウェルビーイングを考える教材がある。
司会（会長）	総括をする。 以上のことより、あかつき図書を1番、光村図書を2番として推薦する。